

平成19年度境港市当初予算案について

「自立可能な財政基盤の確立」と「市民サービスの維持向上」の両立に向けて

地方自治体の予算編成をめぐる財政環境は、依然厳しい状況が続いています。

このような状況の中、平成19年度につきましても、標題のとおり、引き続き、現サービスを維持しながら、総人件費や投資的経費の抑制を中心とした歳出規模の適正化に努めています。

予算案のポイントとしましては、これまで絞り込んできた経常経費を更に3.5%減額することにより、新たな財源を生み出し、これまでのサービスに加え、教育環境の整備や子育て支援の分野を中心に、重点的に財源配分を行っております。

1 予算規模(一般会計)

119億1千万円 対前年度： 4億2千万円 (3.4%)

主な要因

- ・ 公債費(区画整理特別会計からの移管分除く。) + 8,433万円
- ・ 貸付金(中小企業金融対策) 3億2,148万円
- ・ 繰出金(下水道会計) 2億5,512万円

2 歳入の状況(一般会計)

市 税

39億9,706万円 対前年度 + 3億3,450万円(+ 9.1%)

- ・ 市民税は、税源移譲、税制改正等の影響により + 3億4,705万円
(個人 + 3億5,320万円、法人 615万円)
- ・ 固定資産税は、評価替えの次年度ということもあり + 1,480万円
- ・ たばこ税 1,533万円

譲与税・交付金

7億8,070万円 対前年度 3億3,840万円(30.2%)

- ・ 所得譲与税は、税源移譲により皆減 2億7,600万円
- ・ 地方特例交付金は、税制改正等の影響により 4,500万円 など

地方交付税

29億1,000万円 対前年度 5,000万円(1.7%)

市 債

4億3,700万円 対前年度 9,880万円(18.4%)

- ・ 通常債 1億1,100万円、臨時財政対策債 3億2,600万円

引き続き中期的展望に立ち、市債借入を抑制した。

- ・ 市債借入額 4億3,700万円 < 市債元金償還金 15億6,848万円

(参 考)

年度末市債残高

17年度	164億5,916万円
18年度見込み	156億4,473万円
19年度見込み	145億3,695万円